



当院小児科のご紹介

診療部長 徳永 修

当院小児科は「ちょっと遠かったけど、この病院まで来てよかった」と思ってもらえるような、丁寧で、かつ、質の高い小児医療の提供を目標としています。当院のみでは完結できない診療分野も多くありますが、子どもたちとその保護者の悩みに真摯に耳を傾け、その解消に向けて、根気強く対応しています。特に、以下に示す、いくつかの症状・疾患については数少ない専門的な医療機関として認知されるようになっており、地域の診療所、病院、さらに、学校から紹介される例も年々増加しています。

慢性的に続く子どもの体調不良(頭痛や腹痛、倦怠感、睡眠リズムの乱れなど)

器質的な疾患の可能性も念頭においた診察・検査を行うほか、心理的なストレスや自律神経調節障害、発達障害などの関与についても丁寧に評価しています。長い経過をたどる例も多くありますが、子どもとその保護者に寄り添いながら、訴えの軽減を目指しています。

子どもの発達に関わる課題

乳幼児健診や保育園・幼稚園、さらに学校において精神運動発達に関する課題や発達障害の可能性を指摘された子どもたち、家庭において保護者が「育てにくさ」を感じる子どもたちを対象に専門的な評価・診療を行っています。

子どもの肥満

肥満傾向の子どもたちが自分の身体に興味をもち、肥満解消に向けた意欲が継続することを一番の目的としています。その背景に伴うことも多い、発達上の課題も考慮しながら、継続可能な課題を呈示し、子どもたちの頑張りを積極的に評価しています。

低身長や高身長、やせ

背景に潜んでいるかもしれない、様々な疾患を念頭に、必要な検査を適応し、治療適用が望まれる症例を確実に抽出することを目標としています。

食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、気管支喘息など、子どものアレルギー疾患

詳細な病歴聴取、丁寧な診察、必要十分な検査に基づいた的確な診断、丁寧な説明、そして、ガイドラインにそった標準的な治療の提供を心掛けています。外来における食物負荷試験にも積極的に取り組んでいます。

子どもの呼吸器疾患

長く続く咳、いびきや睡眠時無呼吸など、子どもたちの呼吸に関わる様々な症状に関する診療も行っています。小児結核に関わる専門的診療も行っており、全国から寄せられる小児結核に関する診療相談に対応するとともに、コッホ現象疑い例やBCG副反応症例も多数診療しています。さらに、重度重複障がいを抱える子どもたちの呼吸管理にも積極的に取り組んでいます。

限られた分野ではありますが、当院小児科の診療機能がお役に立てる例があれば、お気軽にご相談ください。

『消防訓練』を実施しました

2月12日(水)、院内で消防訓練を行いました。今回は夜間に機械浴室から火災が発生したという想定に基づき、消防機関が到着するまでの間の職員による初期消火、職員の招集及び避難誘導活動を迅速かつ的確に実施し、被害の拡大防止措置がとれるよう習熟することを目的として取り組みました。

実際に消火器や消火水栓を模擬使用した消火活動、消防署への通報や、職員招集及び入院患者の避難誘導(担送・護送・独歩)について、総勢34名の職員で役割分担し行いました。訓練には城陽消防署にも立ち会いいただき、緊張感を持って積極的に対応方法について学ぶことができました。訓練終了後、消防署からこの度の改善点等ご指導をいただいたので、今後実際に火災が発生した際に万全の対応が出来るよう、この訓練を振り返って職員一同努めていく所存です。

南京都病院 職員一同



骨と筋力を強く保って骨折予防! ～食事編～

栄養管理室長 右野 久司

高齢者にとって怖い骨折を予防するには、骨がもろくなってしまう骨粗しょう症を予防することが重要です。「骨にはカルシウム」ということは皆さんご存知であると思いますが、丈夫な骨を作るためには、同時にしっかり摂りたい栄養素があります。その代表が、カルシウムの吸収を助けるビタミンDと、カルシウムの骨への沈着を助けるビタミンKです。また、骨の材料となる蛋白質もしっかり摂る必要がありますが、これは骨折の原因となる転倒を予防するための筋力を維持するためにも重要です。

カルシウムは、牛乳、乳製品、小魚、海藻、大豆製品、緑黄色野菜などに多く含まれ、中でも吸収率の良い牛乳は、コップ1杯(200ml)で日本人の1日必要量平均の約1/3が摂取できます。ビタミンDは、魚介類(さけ、しらす干し)、卵類、きのこ類などに多く含まれます。きのこは天日干しすると紫外線の作用でビタミンDが増加します。また、私たちも紫外線を浴びると皮膚でビタミンDが合成されますので適度な日光浴もおすすめですが、屋外に出る機会が少ない高齢者などは、食事から積極的に摂ることが必要です。ビタミンKは、納豆や緑黄色野菜(ほうれん草やブロッコリー)などに多く含まれます。ビタミンDとKはどちらも脂溶性のビタミンなので、油を使った料理にすることで吸収率をアップすることができます。

健康な骨と、転倒予防のための筋力を保つために、カルシウム、ビタミンDとKのほか、肉や魚、卵や大豆製品などの蛋白質、適量の油脂類を意識した、バランスの良い食事を毎日摂るよう心掛けましょう。



骨粗鬆スクリーニング・骨密度検査

診療放射線技師長 金森 章人

現在、健康寿命の重要性が高まっています。そのためにも気にかけたたいのは骨密度です。体を支える骨は、体の中の大事な器官です。特に女性の場合、50才前後から女性ホルモンの分泌が減少する影響で骨密度は低下していきます。『寝たきり』を予防するためには定期的に骨密度検査を行うことが推奨されています。

骨密度を測るには、大きく分けると超音波や手のレントゲン写真から骨密度を簡易的に測る方法とDEXA法といった骨密度専用装置を使った検査に分けられます。よく街中で行われている健康フェアなどで使われているのは、超音波を使った簡易法です。簡易法でもおおよその骨密度が測れますが、正確に測るには骨密度専用装置で測る必要があります。当院ではDEXA法を使った骨密度専用装置で検査を行っています。

具体的には、腰椎と左右どちらかの股関節の骨で測定を行います。なぜ2部位測るかというと、高齢になると背骨の変形などにより正確に測定できず、場合によっては骨密度が高く表示され正確な結果が出ない場合があるからです。そこで股関節の骨も測ることにより、より正確な骨密度が測定できる事ができます。

検査時間は、2部位で10分程度です。結果は検査後すぐにお渡しできます。

簡単な検査ですので、一度ご自身の骨密度を調べてみてはいかがでしょうか？



Discovery (HOLOGIC社製)

地域医療に力を傾けておられるみなさまをご紹介します

できるかぎりきちんとした診断を行うよう心掛けております

医療法人 松森内科医院

内科

放射線科

院長 松森 篤史 先生



木津川市で父の後を継ぎ開業しております。

内分泌代謝消化器疾患、特に糖尿病、甲状腺疾患、肝疾患を中心に内科全般を診療しております。内科なので、きちんとした診断を

行った上での治療が大事と考えており、できる限り専門的な診断加療ができるよう心掛けております。

場合によっては、南京都病院の先生方はじめ、専門医療機関へのご紹介で対処するようにしております。

検査としては、胃カメラ、超音波検査（腹部・頸動脈・甲状腺・心臓）、レントゲン、心電図、呼吸機能、下肢動脈の狭窄を調べるABI、睡眠時無呼吸検査等を行うことが可能です。よろしく願いいたします。

■ 京都府木津川市川原田27-3

■ TEL 0774-73-0669

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前診 9:00~12:00	●	●	●	/	●	●	/
午後診 16:30~19:30	●	/	●	/	●	/	/

■ 休診日 火曜日の午後、木曜日、土曜日の午後、日曜日、祝日

※往診、特殊外来（糖尿病外来、肝炎外来）を上記時間外に予約制で行っております。詳しくはお電話にてお問い合わせください。



住み慣れた、あなたの町の看護師さん

訪問看護ステーション LIFE 訪問看護

訪問看護ステーション LIFE は、近鉄伊勢田駅から徒歩 10 分の場所に、2019 年 10 月にオープン致しました。

自宅で生活を望んでおられる方が、どんな病気や状況であっても安全・安楽に生活ができるように、心のこもった温かいサービスが提供できる体制を整えています。当訪問看護ステーションは宇治市にありますが、「時間・場所を選ぶことなく」が理念です。宇治市以外のどこでも訪問させていただきます。また、女性看護師だけではなく、男性看護師も多く在籍しており、介助負担が大きなご利用者さまもご安心してご利用いただけます。当ステーションの看護師の平均年齢は若く、20 代、30 代の看護師も活躍しています。

ご利用者・ご家族が安心した生活ができるよう「24 時間 365 日」サポートできるよう対応致します。人工呼吸器やカテーテル管理が必要な方、神経難病疾患、精神疾患などにも対応しております。



■ 京都府宇治市伊勢田町若林57-3

■ TEL 0774-48-5005

■ FAX 0774-48-5006

■ 営業日：月～金（土・日・祝も相談いただければ対応可能）

■ 営業時間：9 時～18 時
（時間外も対応可能）

■ 訪問エリア：（宇治市全域・宇治市以外も対応可能）



臨床検査科の紹介

臨床検査技師長 大西 秀行

臨床検査は大きく分けて、検体検査と生理機能検査に分かれます。血液や尿を用いて行う生化学・血液・一般検査、主に感染症などを検査する細菌・微生物検査、腫瘍の有無などを調べる病理検査が検体検査です。生理検査には、心臓の異常を調べる心電図検査、肺の機能を調べる呼吸機能検査、てんかんなどの診断に重要な脳波検査、超音波を用いて体内を調べるエコー検査、睡眠中の呼吸の有無などを検査する睡眠時無呼吸検査等があります。検査の多くは苦痛なく安全に行えますが、当院では呼吸器疾患の方が多く、呼吸機能検査に苦痛を感じておられる方が多いです。しかし、皆さんできる限りの努力をしています。

臨床検査科では、「正確」・「迅速」に結果報告できるよう努めています。有用で信頼性の高い結果を提供できるよう、毎日内部精度管理を行い、定期的に全国規模で行われる日本医師会主催の外部精度管理にも参加しています。また、他部門との連携を強化し、患者さんのトータルケア向上を目指しています。ご不明な点がございましたら、いつでもお声かけ下さい。



リハビリテーション科

理学療法士長 小松 勝幸

理学療法（PT）は、座る、立つ、歩くなどの改善を目的に、運動療法や物理療法、動作訓練などをおこないます。

作業療法（OT）は、食事、排せつ、着替え、入浴動作などの日常生活動作の改善を目的に作業や日常生活動作訓練、指導をおこないます。

言語聴覚療法（ST）は、言語機能や嚥下機能の改善を目的に認知機能、言語能力、嚥下機能などの評価、訓練をおこないます。



理学療法



作業療法



言語聴覚療法

新採用者紹介

教育担当看護師長 山浦 新太郎

令和2年4月1日に辞令を受け、南京都病院の新メンバーとして入職しました。4月1日～4月3日まで新採用者研修に参加し、国立病院機構の概要や南京都病院の紹介、社会人としての基本的なマナー・接遇、コンプライアンスについてなど、南京都病院で働くための基本を学びました。南京都病院の職員として一刻も早く職場環境に慣れ、南京都病院の理念である「分かりやすく、安全で安心して受けられる質の高い医療を提供できる」ように努力してまいります。どうぞよろしくお祈いします。



交通のご案内



- 近鉄京都線 新田辺から 京阪宇治バス約15分
- JR学研都市線 京田辺から
- JR奈良線 山城青谷から 徒歩20分

＊…各駅より送迎車あり

診療科のご案内

- 呼吸器科
- 脳神経内科
- 消化器科
- 内科
- 外科
- 整形外科
- 呼吸器外科
- 循環器科
- 放射線科
- 皮膚科 (入院患者のみ対象)
- リハビリテーション科
- 耳鼻いんこう科 (休診中)
- 麻酔科 (入院患者のみ対象)
- 歯科 (入院患者のみ対象)
- 心療内科 (入院患者のみ対象)
- 小児科



独立行政法人国立病院機構

南京都病院

(当院は在宅療養あんしん病院に登録しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください)

〒610-0113 城陽市中芦原11番地
TEL.0774-52-0065 FAX.0774-55-2765
URL <https://minamikyoto.hosp.go.jp/>

地域医療連携室

電話受付時間の延長について
平成30年12月1日から、申し込み受付を19時まで延長させていただきます。
電話受付時間

8:30～19:00 月～金(土・日・祝日休み)

TEL: 0774-52-0191 (直通)

0774-52-0065 (代表)

FAX: 0774-58-0270

予約状況を確認し、その場で受診日時をお返事いたします。

なお、お時間を要する場合は折り返しお返事させていただきますので、ご了承ください。

E-mail: 407-renkei@mail.hosp.go.jp